

1. 標的行動の観察と操作的定義

- a. その動物は何をしているか？ それは観察可能かつ計測可能なものか？

2. 行動を予測させている物理的環境的な先行事象を特定する。先行事象には（行動の発生と時間的に）近接しているものと離れているものがある。

- a. 問題になっている行動が起きるかどうかに影響を与えている、離れたもしくは一般的な、事情もしくは出来事は何か？

- i 動物種、性別、年齢は？

- ii 医学的もしくは身体的な問題は？

- iii 食事の習慣と内容は？

- iv 一日のスケジュールは？

- v 囲いと活動のスペースは？

- b. 問題になっている行動を予測させている、もしくは、その機会を作っている直前の先行事象は何か？

- i その行動問題がもっとも起きるのは、いつ、どこで、誰といる場合か？

- ii その行動は、世話をしている人の要求もしくは依頼、あるいは、その環境への人の立ち入りもしくは退去の直後に起きるか？

- c. その動物がもっとも成功できている時、つまり、その問題が起こらないのは、どんな状況か？

3. 問題になっている行動を維持している結果事象を特定する。それが、その行動がその動物のために果たしている役割であり、その行動の直接の目的である。

- a. その動物は、そう行動することによって、何を獲得しているか？ 注目、特定の物、活動、感覚フィードバックなど。

- b. その動物は、そう行動することによって、何を回避しているか？ 特定の人、要求や依頼、物や活動、感覚刺激など。
- c. その種の野生状態での生活環境が、どの程度その行動の成立に関与しているか（博物学的観点から考えて、その行動が果たしている可能性のある役割は何か）？

4. その行動（問題になっている行動）が起きる主要な状況毎に、離れた先行事象、直前の先行事象、観察可能な行動、そして、結果事象の関係を説明する図 1 のような要約書を作成する。

図 1. 機能査定要約書

離れた先行事象：そのオウムは、生まれてから 6 ヶ月間、暗い地下室に他の 9 羽のオウムとともに放されていた。その後、新しい家族に迎えられた。栄養不足で、社会的な交流も十分にできていなかった。

先行事象 (Antecedent)：私とその部屋から出る

行動 (Behavior)：そのオウムが何度も大きな声で叫ぶ

結果事象 (Consequence)：私をそのオウムのケージの所に戻らせるため

行動変化プログラムを計画するためには、まず、機能査定要約表を作成し、その後、主に世話をしている人に次の質問に答えてもらう。

5. 置換行動：その動物の目的を果たす可能性のある、既存の代替行動にはどんなものがあるか？

- a. _____ ではなく、
(問題になっている行動を特定する)
- b. その動物は _____ ことができる。
(置換行動を特定する)

例：私の手を噛むよりも、オウムは体をのけぞらせることができる。

6. 望ましい行動：その動物に最終的にどんな行動をしてほしいか？

- a. _____ たら、
(先行事象を要約する)
- b. その動物は_____。
(望ましい行動を特定する)
- c. _____ ために。
(行動の「見返り・報酬」を要約する)

例：私が手を差し出したら、そのオウムはその手に乗ることができる。遊び場として用意されている木に乗せてもらうために。

7. 問題になっている行動を変えるために、これまでに試したことは何か？

8. 事前戦略：まず最初に、その行動（問題になっている行動）が発生しないようにするために、方法や環境の中に存在するもので、自分に変えられるものはあるか？

- a. どうすれば「問題になっている行動が起こりやすい時」に関わる事柄を修正できるか：
- b. どうすれば「問題になっている行動が起こりやすい場所」に関わる事柄を修正できるか：
- c. どうすれば「問題になっている行動が起こりやすい時に行われている活動」に関わる事柄を修正できるか：
- d. どうすれば「問題になっている行動が起こりやすい時に存在している人」に関わる事柄を修正できるか：
- e. 自分が教えることができる、もしくは、教え直すことができる行動には、どんなものがあるか：
- f. 自分が、物もしくは状況を、加える、取り除く、あるいは、変えることによって、修正することができる環境の側面には、どんなものがあるか：

g. その他に修正できることはないか：

9. トレーニング戦略：その動物が置換行動で成功できるようにするために、どんなスキルをその動物に教える必要があるか？

a. 誰がトレーニングするか？

b. いつトレーニングするか？

c. どこでトレーニングするか？

d. どのくらいの頻度でトレーニングするか？

e. どのような練習の機会を、どのくらいの頻度で提供するか？

10. 強化の手続き：置換行動/望ましい行動の発生を増加させるために、自分がすべきことは何か？

a. 潜在強化子を特定する：行動介入時に、行動を促す動機として利用可能な、その動物が好きなものや活動は何か？人は誰か？

b. 明確な行動のクライテリア（評価基準）の確立：前述の強化子を獲得するために、その動物はどんなことを正確に実行しなければならないか？

c. 強化スケジュールの決定：その動物が前述の強化子をどんな頻度で獲得できるようにするか？一般的に、（すべての正しい行動に対して強化子を提供する）連続強化スケジュールが最良である。

11. 減少の手続き：問題になっている行動の発生を減少させるために、自分がすべきことは何か？

a. どうやって発生するすべての行動を無視して、すぐに他のことに注意を向けるか？

b. どうやって発生する行動のひとつひとつを阻止して、（他の行動に）移行させるか？

c. どうやって正の強化からのタイムアウトを実施するか：

d. その他の戦略：

12. 実施詳細：他の人がこのプランを正しく、一貫して実施するのを助けるために、他にどんな詳細もしくは説明があるか？

13. 変化の追跡：必要に応じてプランを継続もしくは改善する。そのための進展状況の確かな記録を得るために、どうやってその動物の行動をモニターするか？

a. データをどう集め、どう記録するかを正確に述べる。

i 一日を通した標的行動の頻度数

ii ____:____ am/pm から ____:____ am/pm までの頻度数

iii 標的行動の継続時間の計測

iv その他

14. 結果の評価：その動物と世話をしている人たちのそれぞれが、どんな状況下で、どんな結果を獲得したときに、このプログラムを成功と見なすか？

図 2. 機能査定と代替行動への道。問題になっている行動を、無意味で、役に立たず、非効率的なものにするために可能な方法を記入します。

